

# 平成30年度 文京区立明化小学校 授業改善推進プラン

## 算数科

|    | 児童の実態  | 指導のめあて   | 具体的な授業改善の方法  | 2学期評価 | 3学期評価 |
|----|--|--|--|-------|-------|
| 三年 | <ul style="list-style-type: none"> <li>○意欲的に学習に取り組み積極的に発言する児童が多い。一方、学習理解では差が大きい。</li> <li>○ひき算が苦手な児童や九九の暗記が不十分な児童がいる。</li> <li>○題意を捉え正しく立式することができない児童がいる。</li> </ul>                               | <ul style="list-style-type: none"> <li>○主体的に学習に取り組む児童を育てる。</li> <li>○基礎的・基本的な学習内容を定着させる。</li> <li>○題意を正しく理解し、解決できる児童を育てる。</li> </ul>                           | <ul style="list-style-type: none"> <li>○既習内容を生かしたり、絵・図・数直線・線分図や表など多様な方法で解決したりする学習を積み上げることで学習問題の解決の仕方を身に付け主体的に取り組めるようにさせる。</li> <li>○定着状況が不自由な児童に対してはベーシックドリル、教科書の復習部分を活用して、既習内容から単元を構成し、細やかな個別支援を行う。必要があれば時間外の個別指導を行う。</li> <li>○解決計画を丁寧に行い、既習問題との違い、題意を捉えられるようにする。</li> </ul> |       |       |
| 四年 | <ul style="list-style-type: none"> <li>○真面目な態度で学習に取り組む児童が多い。自分の考えを相手に伝えるように話そうとする児童が多い。一方、学習理解では差が大きい。</li> <li>○題意を捉え正しく立式することができない児童がいる。</li> <li>○三角定規や分度器等の器具を正確に使うことができない児童が少なくない。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>○主体的に学習に取り組む児童を育てる。</li> <li>○題意を正しく理解し、解決できる児童を育てる。</li> <li>○基礎的・基本的な学習内容を定着させる。</li> <li>○器具を正確に使えるようにする。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>○レディネステストを踏まえ個々の学習の状況に応じて解決の糸口や見通しがもてるような指導を行い、児童が主体的に取り組むようにさせる。</li> <li>○前学年までの基礎的基本的な学習内容が不十分な児童に対してはベーシックドリル、教科書の復習部分を活用して、家庭学習と連携して、細やかな個別支援を行う。必要があれば時間外の個別指導を行</li> </ul>   |       |       |

|    |  |   |   |  |  |
|----|--|---|---|--|--|
|    |  |   | <p>う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○解決計画を丁寧に行い、既習問題との違い、題意を捉えられるようにする。数直線をかき習慣をつける。</li> <li>○算数的活動を多く取り入れ、図形概念を実感させる図形をたくさんかかせる。</li> </ul>  |  |  |
| 五年 | <ul style="list-style-type: none"> <li>○授業に集中できない児童がいる。</li> <li>○題意を捉え正しく立式することができない児童がいる。</li> <li>○コンパスや分度器などの器具を正確に使うことができる児童が多い。</li> </ul>                                   | <ul style="list-style-type: none"> <li>○児童にとって、わかりやすく興味深く継続して取り組むことができる問題の設定や学習の進め方を考える。</li> <li>○基礎的・基本的な学習内容を定着させるとともに、式を表す前に問題の意味を数直線や線分図や図に表すなどして、確実に式を立てることができるようさせる。</li> <li>○題意を正しく理解し、解決できる児童を育てる。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>○答えだけでなく、根拠も言うようにさせる。</li> <li>○苦手な児童に対してはベーシックドリル、教科書の復習部分を活用して、既習内容から単元を構成し、細やかな個別支援を行う。必要があれば時間外の個別指導を行う。</li> <li>○解決計画を丁寧に行い、既習問題との違い、題意を捉えられるようにする。数直線をかき習慣をつける。</li> <li>○算数的活動を多く取り入れ、図形概念を実感させる。図形をたくさんかかせる。</li> </ul> |  |  |
| 六年 | <ul style="list-style-type: none"> <li>○自分の考えを相手に伝わるように論理的に話そうとする児童が多い。</li> <li>○既習内容が身に付いていないために、自力解決できない児童がいる。自力解決できないとあきらめてしまう。</li> <li>○題意を捉え正しく立式することができない児童が多い。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>○論理的に考え発表できる児童を育てる。</li> <li>○基礎的・基本的な学習内容を定着させる。</li> <li>○題意を正しく理解し、解決できる児童を育てる。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>○考える時間を確保し答えだけでなく根拠もわかりやすく言えるようにさせる。</li> <li>○苦手な児童に対してはベーシックドリル、教科書の復習部分を活用して、既習内容から単元を構成し、細やかな個別支援を行う。必要があれば時間外の個別指導を行う。</li> </ul>   |  |  |

|                           |  |  |  |  |
|---------------------------|--|--|--|--|
| <p>○図形感覚が育っていない児童がいる。</p> |  | <p>○解決計画を丁寧に行い、既習問題との違い、題意を捉えられるようにする。数直線をかき習慣をつける。</p> <p>○算数的活動を多く取り入れ、図形概念を実感させる。図形をたくさんかかせる。</p> |  |  |
|---------------------------|--|--|--|--|